

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第20週の発生動向

トピックス

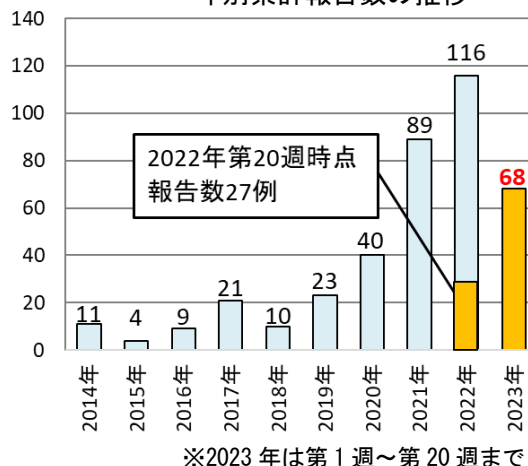
・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告数が昨年と比べて多くなっている。診断週による累積報告数は68例と、1999年以降最も多くなった前年(116例)の第20週時点(27例)を超えており、今後も増加が懸念される。

性別は男性が40例、女性が28例で、年齢群別では、20歳代から30歳代が全体の約6割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、47例となっている。

【梅毒】2023年(第1週~第20週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
9	20	19	13	5	2

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



全数報告の感染症(20週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：ウイルス性肝炎2例、急性脳炎2例、後天性免疫不全症候群1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	60歳代	女	結核性リンパ節炎	発熱、右頸部の腫脹
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、呼吸困難
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	10歳代	女	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、両側扁桃腫大(白苔を伴う)
		延岡	20歳代	男	B型	肝機能異常
	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	男	病原体不明	発熱、意識障害、髄液細胞数の増加、異常行動、言語障害
			10歳代	男	パラインフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30歳代	男	無症候性キャリア	なし
	侵襲性肺炎球菌感染症	高鍋	80歳代	男	—	頭痛、発熱、全身倦怠感、嘔吐、項部硬直、髄膜炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹
30歳代			男	無症状病原体保有者	なし	
40歳代			男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹	
都城			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結		

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,115人(定点当たり27.3)で、前週比153%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は134人(2.3)で、前週比112%と増加した。高千穂(17.0)、延岡(2.6)、高鍋(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割を占めた。

【インフルエンザ】

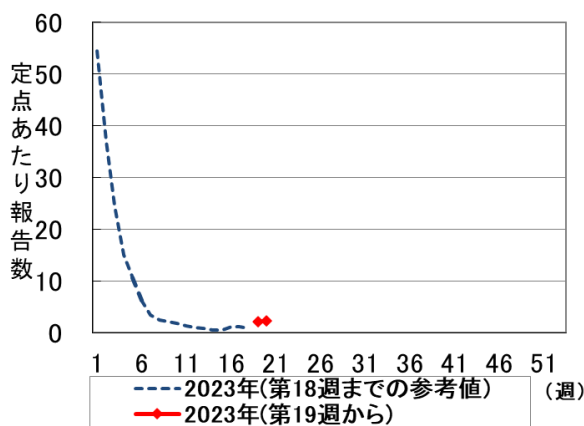
報告数は263人(4.5)で、前週比192%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.20)の約22.7倍であった。小林(10.5)、中央(9.5)、都城(7.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

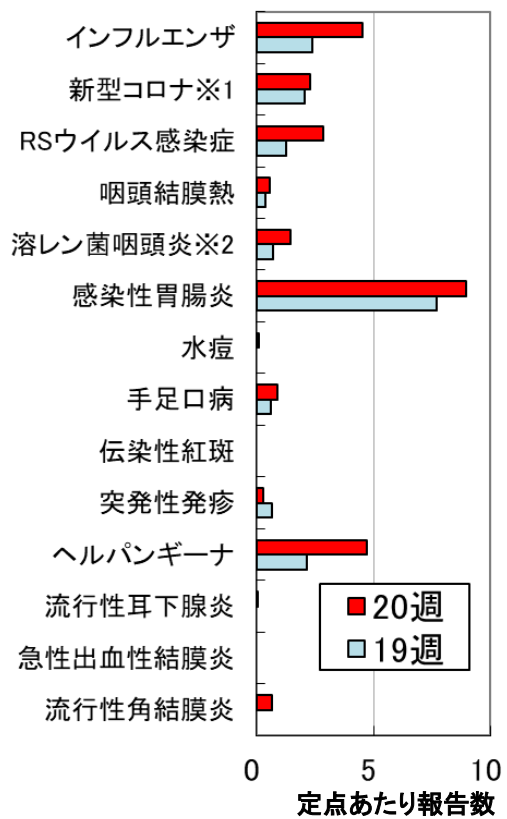
報告数は170人(4.7)で、前週比218%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.66)の約7.1倍であった。宮崎市(9.1)、延岡(5.5)、都城(4.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

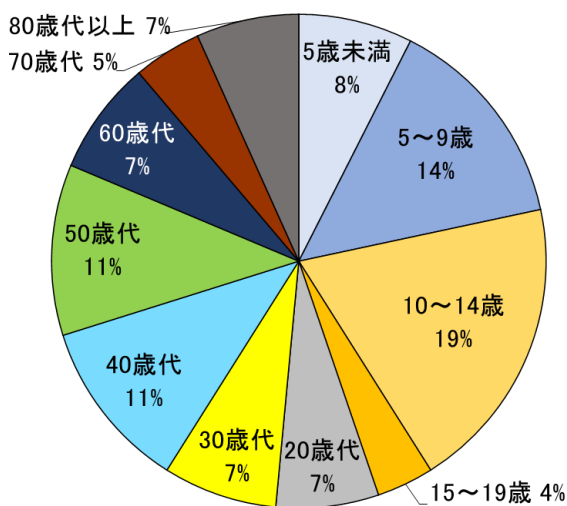


《前週との比較》



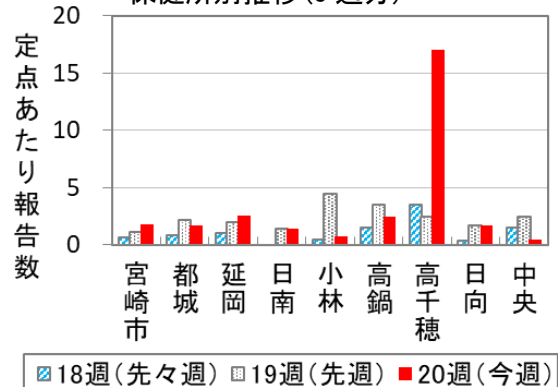
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第20週)

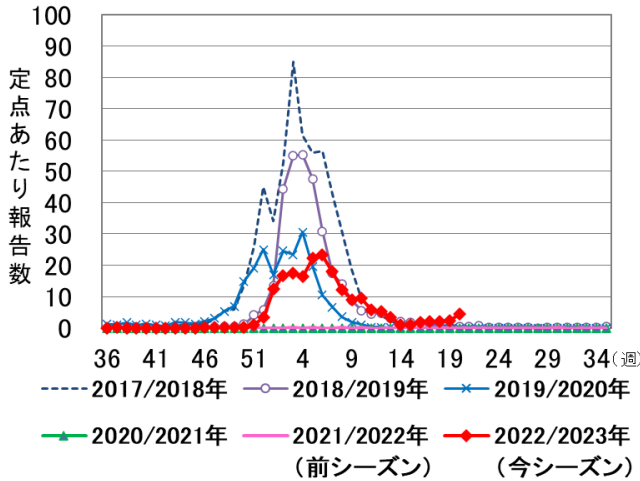


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

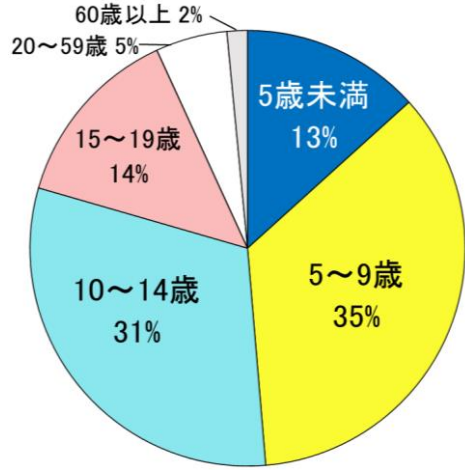
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



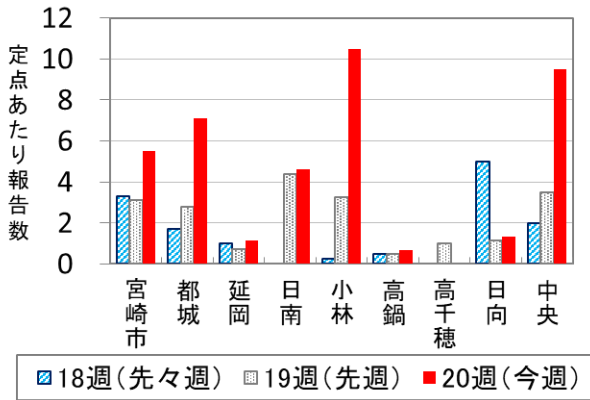
インフルエンザ 発生状況



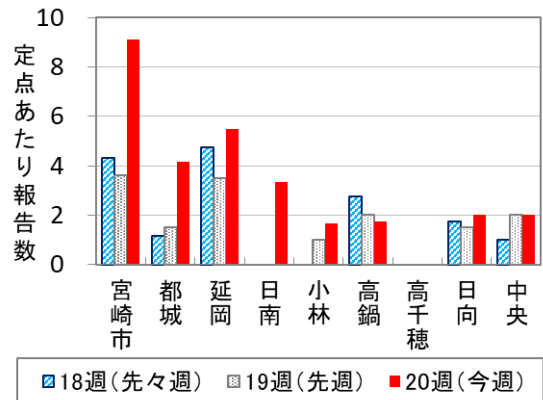
インフルエンザ年齢群別グラフ(第20週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(9.1)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	インフルエンザ(10.5)、感染性胃腸炎(26.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年5月22日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O103:HNM)	50歳代	男	2023.04.14	無症状	便	2023.04.20
EPEC(OUT:H28)	0～4歳	女	2023.04.22	胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.05.02
EPEC(O103:HNM)	40歳代	女	2023.04.19	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.05.02

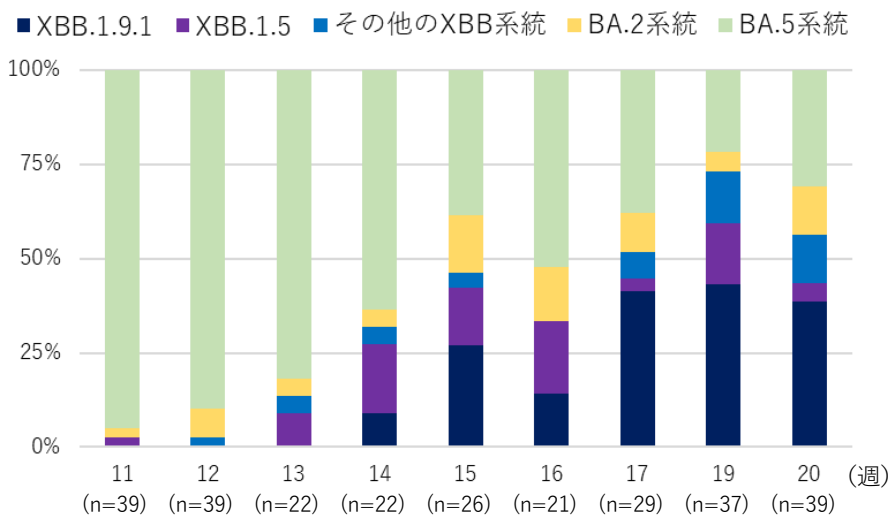
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.03.20	咽頭炎、39.0℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2023.05.09

○インフルエンザ陰性と診断された1名からインフルエンザウイルス AH3 が分離された。感染の初期または感染後一定期間経過後に検体を採取した場合、ウイルス量が少なく偽陰性を呈することがあるため注意が必要である。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



その他の XBB 系統も含む XBB 系統（22 件）は第 20 週で 56%でした。なお、今週は集団での感染が疑われる事例が含まれており、ゲノム解析結果が集団内で同一株であったことを考慮し、1 集団を 1 件と数えると総数が 31 件となり、XBB 系統（22 件）は 71%を占めています。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられます。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株です。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施しています。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなります。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施しています。

🇯🇵 全国 2023 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	239 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	21 例	サル痘	14 例	重症熱性血小板減少症候群	8 例
	つつが虫病	4 例	日本紅斑熱	14 例	レジオネラ症	31 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	16 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	50 例	水痘(入院例)	10 例	梅毒	218 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	14 例
	風しん	1 例	麻しん	3 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週(新型コロナウイルス感染症については、定点医療機関からの第 18 週の報告数をもとに国が算出した参考値を使用)比 133%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

咽頭結膜熱の報告数は 1,443 人(0.46)で前週比 164%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.28)の約 1.6 倍であった。富山県(1.00)、福井県(0.96)、鹿児島県(0.96)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,034 人(0.33)で前週比 118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.05)の約 6.6 倍であった、佐賀県(3.6)、宮崎県(2.2)、長崎県(1.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第20週(05月15日～05月21日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	137	263	88	71	8	23	42	4		8	19
	定点当り	2.36	4.53	5.50	7.10	1.14	4.60	10.50	0.67	0.00	1.33	9.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	120	134	29	17	18	7	3	15	34	10	1
	定点当り	2.07	2.31	1.81	1.70	2.57	1.40	0.75	2.50	17.00	1.67	0.50
RSウイルス感染症	報告数	46	103	33	12	4	3	5	17		20	9
	定点当り	1.28	2.86	3.30	2.00	1.00	1.00	1.67	4.25	0.00	5.00	9.00
咽頭結膜熱	報告数	14	20	6	3	1	3		3		2	2
	定点当り	0.39	0.56	0.60	0.50	0.25	1.00	0.00	0.75	0.00	0.50	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	25	52	16	12	2	9				8	5
	定点当り	0.69	1.44	1.60	2.00	0.50	3.00	0.00	0.00	0.00	2.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	277	322	77	58	13	39	80	16	8	21	10
	定点当り	7.69	8.94	7.70	9.67	3.25	13.00	26.67	4.00	8.00	5.25	10.00
水痘	報告数		4				1		1		2	
	定点当り	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	22	32	16	8		7		1			
	定点当り	0.61	0.89	1.60	1.33	0.00	2.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	10	3	1	1	1	2	2			
	定点当り	0.64	0.28	0.30	0.17	0.25	0.33	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	78	170	91	25	22	10	5	7		8	2
	定点当り	2.17	4.72	9.10	4.17	5.50	3.33	1.67	1.75	0.00	2.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数		4	3	1							
	定点当り	0.00	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～20週)

2類感染症	結核	47例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	5例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	1例		日本紅斑熱
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例(2)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例(2)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	3例(1)
	水痘(入院例)	1例	梅毒	72例(5)
	百日咳	4例		
			カルバベネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性肺炎球菌感染症	5例(1)
			播種性クリプトコックス症	3例

()内は今週届出分、再掲